

第12回クリスマスローズの世界展 in 豊島区池袋サンシャインシティ

2014.2.21(金)

クリスマスローズはキンポウゲ科の植物。寒さに強く、日当たりの良くない庭でも生育する丈夫な植物。花びらに見えるのは「がく」。だから花が長もち。長期間、咲き続けるのも、この植物の魅力の一つ。近年、愛好家が増え、品種改良も盛ん。毎年、このクリスマスローズの世界展では、育種家の皆さんが手塩にかけて作出した自慢の品種が勢揃いします。山下ようこも、ほぼ毎年、訪れ、早春の息吹を感じています。

当日撮影した主な写真をご紹介します!!



大阪府八尾市の童仙房ナーセリー&ガーデンのブース。



クリスマスローズ中心の寄せ植え。シック&モダン、洗い色彩の中にセンスの良さが感じられます。



こちらは、山下ようこも会員になっている英国王立園芸協会日本支部のブース。写真パネルの展示です。英国王立園芸協会は、今から200年余り前の1804年、イギリス・ロンドンで誕生しました。総裁はエリザベス女王が務めておられます。



東京都杉並区の野田園芸のブース。



野田園芸の野田卯一郎さん。クリスマスローズの育種家の第一人者。クリスマスローズ協会の常任理事も務めます。写真はすべて、野田さんの生み出した品種です。

野田園芸の品種の
いくつかをご紹介します!!



ゴールドネクタリー



ネオン



ダブルゴールドフラッシュ



セミダブルゴールド



ゴールドスポット



ダブルゴールド(アブリコット)



会場には、クリスマスローズと同じキンポウゲ科の植物「ユキワリソウ」のコーナーも、国際雪割草協会によって設けられていました。これは、様々な品種の花を水に浮かべたもの。山下ようこは、会場を訪れると、クリスマスローズの株を購入することが多くありますが、今回は紫の花のユキワリソウを1株購入し、自宅の庭に植えました。

美しいユキワリソウの数々

